

公会計事業別財務書類分析シート

事業類型：固定資産整備型

決算対象年度：令和元年度 対象年月：令和 2年 3月
 会計：一般会計
 局：県土整備局
 所属：県土整備局道路管理課・道路整備課（直通 045-210-6355・6431）
 公会計事業：道路費

1 主な事業内容

- ・各種道路施設の点検や維持修繕、耐震対策など、適正な維持管理を行う。
- ・通学路の安全対策や歩道の整備、交差点の改良等を行う。
- ・道路の新設、現道の拡幅及び線形改良を行う。
- ・鉄道と道路の平面交差による道路交通障害箇所の立体交差化を図る。
- ・都市計画道路の新設・改良を行う。

2 行政コスト及び純資産変動計算書

(単位：千円)

科目	H29決算	H30決算	R01決算	H29-H30増減率	H30-R01増減率
経常費用	37,574,763	38,463,660	40,043,724	2.4%	4.1%
人件費	2,526,998	2,567,833	2,635,840	1.6%	2.6%
物件費等 ※	29,930,956	31,607,867	33,612,230	5.6%	6.3%
物件費	3,891,388	3,915,500	4,131,291	0.6%	5.5%
維持補修費	4,634,265	6,100,909	8,202,136	31.6%	34.4%
減価償却費	21,139,282	21,481,922	21,266,767	1.6%	△1.0%
移転費用 ※	41,601	145,414	463,491	249.5%	218.7%
補助金等	2,568	59,012	335,184	2,198.3%	468.0%
社会保障給付	-	-	-	-	-
経常収益	979,051	1,003,219	1,021,184	2.5%	1.8%
使用料・手数料	801,591	836,316	831,888	4.3%	△0.5%
その他	177,459	166,903	189,296	△5.9%	13.4%
純経常行政コスト(経常収益－経常費用) ①	△ 36,595,712	△ 37,460,441	△ 39,022,540	△2.4%	△4.2%
臨時損失	203,365	1,046,053	130,708	414.4%	△87.5%
臨時利益	-	157	5,392	皆増	3,343.2%
純行政コスト(①－臨時損失＋臨時利益)	△ 36,799,078	△ 38,506,338	△ 39,147,856	△4.6%	△1.7%
財源	5,125,445	4,997,064	6,199,144	△2.5%	24.1%
税収等	137,892	18,679	73,055	△86.5%	291.1%
国等補助金	4,987,553	4,978,384	6,126,089	△0.2%	23.1%
本年度差額	△ 31,673,633	△ 33,509,274	△ 32,948,713	△5.8%	1.7%
一般財源充当調整額	59,501,491	57,318,337	53,358,746	△3.7%	△6.9%

(注) ※印の下位科目は、内訳を抜粋しているため、合計が一致しない場合がある。

3 貸借対照表

(単位：千円)

科目	H30決算	R01決算	増減率	科目	H30決算	R01決算	増減率
【資産の部】				【負債の部】			
固定資産	655,078,362	648,506,469	△1.0%	固定負債	348,904,087	346,414,480	△0.7%
有形固定資産	654,998,291	648,383,235	△1.0%	県債	347,274,965	344,877,065	△0.7%
事業用資産	704,339	703,328	△0.1%	長期未払金	-	-	-
土地	687,631	687,631	0.0%	退職手当引当金	1,629,122	1,537,415	△5.6%
建物	35,098	30,634	△12.7%	損失補償等引当金	-	-	-
建物減価償却累計額	△ 18,390	△ 14,936	△18.8%	その他固定負債	-	-	-
工作物	3,069	3,069	0.0%	流動負債	68,533,551	44,243,856	△35.4%
工作物減価償却累計額	△ 3,069	△ 3,069	0.0%	県債	68,347,622	44,056,560	△35.5%
その他	-	-	-	未払金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	賞与等引当金	185,929	187,296	0.7%
インフラ資産	654,266,342	647,657,522	△1.0%	預り金	-	-	-
土地	176,465,921	178,888,794	1.4%	その他流動負債	-	-	-
建物	110,595	217,125	96.3%				
建物減価償却累計額	△ 57,442	△ 61,382	6.9%				
工作物	1,263,871,198	1,275,108,933	0.9%				
工作物減価償却累計額	△ 856,131,695	△ 877,583,548	2.5%				
その他	-	-	-				
建設仮勘定	70,007,765	71,087,600	1.5%				
物品	27,610	22,385	△18.9%				
無形固定資産	70,766	114,510	61.8%				
投資その他の資産	9,305	8,724	△6.2%	負債合計	417,437,637	390,658,336	△6.4%
流動資産	839	1,138	35.7%	純資産合計	237,641,563	257,849,271	8.5%
資産合計	655,079,200	648,507,607	△1.0%	負債及び純資産合計	655,079,200	648,507,607	△1.0%

(注) 負債の部における未払費用、前受金、前受費用は、その他流動負債に含む。

4 事業分析

① 行政コスト計算書及び純資産変動計算書(経常費用の経年比較)

主な増減(H30-R01の比較)は、維持補修費が21.0億円(34.4%)増加しています。要因としては、維持補修が必要な県管理道路が増加したためです。

② 貸借対照表(資産の部)

R01決算の内訳は、工作物が3,975.3億円で、資産の61.3%を占めています。そのほか、土地が1,795.8億円、建設仮勘定は710.9億円となっています。

③ 貸借対照表(負債の部)

R01決算の内訳は、県債が3,889.3億円で、負債の99.6%、退職手当引当金が15.4億円で0.4%を占めています。

④ 貸借対照表(純資産合計)

R01決算では、資産合計6,485.1億円から負債合計3,906.6億円を差し引いた2,578.5億円が純資産合計となり、純資産比率(純資産合計/資産合計)は39.8%です。

⑤ 貸借対照表(資産の経年比較)

主な増減(H30-R01の比較)は、建物(インフラ資産)が1.1億円(96.3%)増加しています。これは、道の駅「箱根峠」のトイレ等を改修したためです。

- (注1) ②の分析のうち「建物」「工作物」「建設仮勘定」は、事業用資産及びインフラ資産を合算した上で、それぞれ減価償却累計額がある場合はその金額を控除しています。
- (注2) ③の分析のうち、「県債」は、固定負債と流動負債を合算した金額です。
- (注3) 他の公会計事業で保有する財産や、国、市町村が保有する財産を整備・修繕するために発行した「県債」や「人件費(退職手当引当金等)」が計上されていることなどにより、資産の計上がない、純資産合計がマイナスとなる場合があります。